

106 ヤツガシラ

(サイチョウ目)

兵庫県ランク: 注

Upupa epops

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ南西部からアジアの中・南部、アフリカなどで繁殖する。北方のものは繁殖後は熱帯域に渡り、越冬する。日本には主に春秋の渡りの時期に渡来するが、繁殖また越冬の記録もある。平地の開けた草地や農耕地に生息し、昆虫類やクモ類、ミズ類などの地上の小動物を採食する。



写真提供：鳥田陽子 (性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、福岡沖ノ島、筑前大島、小呂島、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、芦屋市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、高砂市、★川西市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、★淡路市、稲美町、香美町



写真提供：出口敦司 (性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。
県内ではほぼ一年を通して記録がある。1960年以前の記録はなく、1970年代に豊岡市で記録されるようになった。1980年代には県南部も含めて時々記録されている。1990年代以降、やや観察例が増える傾向にあるが、何れも単独であり、個体数は極めて少ない。最近、稀に越冬個体の観察記録があり、今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

県内で生息が確認されている地域の現況調査が必要。